

にゃんこ部長 大忙し

とまとハウジング 浦添

客招く癒やしの存在

2月22日は「にゃんにゃんにゃん」の「口」にちなんで猫の日。浦添市伊祖の不動産業とまとハウジングには猫の社員がいる。癒やし効果で客を呼び、業績アップに貢献する「リアル招き猫」として評判となっている。現在は、2代目チャイ営業部長と社員のぴいちゃんが日々「業務」に励んでいる。

きょう猫の日



とまとハウジング看板猫で茶トラの「2代目チャイ部長」11日、浦添市伊祖（新華社撮影）

猫社員の仕事は、朝のパトロールから始まる。出勤した社員が窓を開けると、外の様子を確認。近くの保育園児が散歩で訪れる午前中は、密着しに園児の前で寝っ転がるサービス。アイドル気質の2代目チャイ部長は、客が来ると膝にすわり寄って接客する。ぴいちゃんは社内を見守るように棚の上に鎮座する。

猫との出会いは18年前。川端ゆかり社長（46）が会社を立ち上げて半年ほどの2000年6月に、中古物件のガレージでダニだらけの子猫を見つけた。昔から猫好きの川端さんは、迷わず保護し、動物病院に駆け込んだ。

初代チャイが入社して以降は、猫がいるからと契約を決める客がいたり、猫に会いたいと訪れる人がいたり、業績も右肩上がり。1年で営業部長に昇任した。人に慣れず気性は荒いが、机の上の書類は決して荒らさない。振動で事務所が揺れると外に向け

て威嚇のポーズをとり、社員を守るようなしぐさをとることも。「社員を和ませるし、守ってくれた。あんな猫はいない」。川端さんは思い出して目を細めた。

2年前、16歳で天国に行ったチャイ。その翌日、保護活動をしている友人を通じて処分予定だった野良猫でチャイにそっくりな子猫に会った。それが2代目のチャイになった。09年に保護したぴいちゃんも2匹で

今日も会社を明るくする。川端さんは猫との絆を「言葉は通じないけど分かり合いたい。分かり合えなくても好き。そんな関係性」と表現する。「猫たちのおかげでここまでできた」。川端さんが笑顔で感謝を述べてと、せわしなく動き回っていた2代目チャイ部長たちは「猫の手も借りたい」と言いたげにこちらを見詰めていた。

（田吹遥子）

きょうの紙面

34 「招き猫」社員だニャン

2月22日猫の日。浦添市の不動産屋とまとハウジングの猫の社員は「リアルと評判だ」。

